



5月21日(土)  
山県の「よさ」を見つけましょう会  
一般見学会



## 美濃俳諧の祖 各務支考が住んだ獅子庵と 名刹 大智寺の歴史

庭の若葉がまぶしく光る5月21日  
“山県の「よさ」を見つけましょう会”の方々主催の大智寺見学会が行われました。この日は、お寺に保管してある市指定文化財の掛け軸を本堂にかけ、皆さんにご覧いただきながら、住職が岐阜や三輪の変遷を踏まえつつお寺の歴史文化について一時間ほどお話をしました。



住職が改めてこうした話をさせていただく機会も少ない中、お友達同士の小学生や高校生のお子様も参加してくださり、お寺としても嬉しい見学会となりました。

先の大震災の記憶も新しい中、1532年(天文3年)の長良川大洪水により、岐阜中谷の堤防が決壊し、川の流れや地形が変化し、人々の生活に大きな影響を与えた話は自然災害の恐ろしさを改めて感じさせるものでした。

三輪中学校辺りの「石原」地域は当時河原であったことや、三輪中学校の勢引山を別名「權立山(かいたてやま)」といい、当時船の渡し場があり船を漕ぐための權(かい)を立てたこと、太郎丸の「中島」地域は当時長良川の中州であったこと、など普段は気に留めずに使っている地名にも当時の水害の大きさを垣間見ることができます。



こうした山県の歴史を始め、お寺の文化についても少しずつ若い世代の方々へ伝えていく工夫も必要なのかもしれないと感じる見学会でした。



# 大智寺だより

平成23年水無月  
Vol.16

発行所  
大智寺

岐阜市山県北野  
668-1  
電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.geocities.jp/daititoukai>

今月の当紙発行には、  
山口染色様の  
ご支援をいただきました。  
ありがとうございます。

5月号発行数

300部

ご愛読戴き、  
恐れ入ります

# 広がる大智寺の輪

## 〜一期一会その瞬間〜

みんなでパワーを  
もらいましょっ？

これは時々お寺にお参りくださる郡上の方のお話です。白髪の方はその方は昨年から、若おくりと気軽に楽しむ「観音さまの会」に参加してくださっており、一か月に一度程度お参りくださいます。

この方が先月の「観音さまの会」にお越しくださった時、きれいな白髪だった頭に黒や灰色の髪が混じっていました。「染められたのかな」と思っていたら、「私ねえ、人生で一度も髪を染めたことないんだけど、このお寺にお参りし始めて、来るたびに大ヒノキを触って元気をもらってたの。そしたら、自然に髪が黒くなってきたの！」と、興奮きみ。

大ヒノキのパワー、  
恐るべしです・・・



## 大智寺への道案内看板 完成間近

大智寺へ初めてお越しになる方は、たいてい「場所がわからなくて、ちょっと迷いました」とおっしゃいます。大智寺は山の中にあるため、なかなか車道からはお寺を見つけにくい立地です。遠方から楽しみに来たのにお寺にたどり着けなかったという話を聞く度に、「このままではいけない」と痛感することも多々・・・



そこで、ついに一般道路から大智寺への案内看板が立つこととなりました。場所は岐阜ファミリーパークへ続く59号線沿いの、西山入口付近の点滅信号脇に一か所、そして、関や美濃方面に抜ける93号線沿いの、花屋さんを過ぎた角に一か所、合計2か所に完成します。

看板と云えば、先日「お寺の境内の案内看板を作るようやったら、わしが趣味で作ったものやけど、図面は出来上がってるで、役に立ててください」とおっしゃってくださった方がいました。本当にありがたいことです。北野には何かなつかしい、人のぬくもりがあらわれています。今回完成する看板をきっかけにお寺にお参りされる方があれば、こつした北野の良さも伝えられるように工夫していきたいと思えます。

### 大本山妙心寺新亡供養団参ご案内

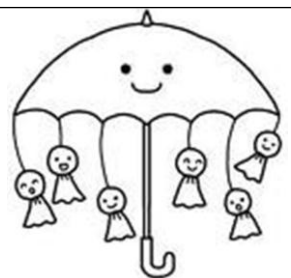
平成22年4月～平成23年3月末までに亡くなられた方を対象に、京都大本山にて新亡供養が行われます。



期日：7月1日(金)  
バスにて一緒にいきます。  
費用：11,000円  
(塔婆供養料込)  
同伴者：10,000円

妙心寺での供養の後、午後は比叡山延暦寺を拝観いたします。

### お寺からのおしらせ



### 東日本大震災義援金のご協力 ありがとうございました

本堂にある義援金箱へのご協力、及び写経会参加費500円のうちお一人300円のご協力、すべて合わせて総額8771円を5月分義援金として5月31日に送金しました。  
送付先：妙心寺派宗務本所 花園会本部へ郵便振替



## ～ シリーズ 晋山式ってなに? ～

本年度 11月6日(日) 大智寺晋山式



今回は、新命和尚を迎える立場である当寺が  
どんな準備をしてきたかをご紹介します。

晋山式とは、お寺を守っていく新しい後継者の披露であり、お寺にとって20～30年に一度の特別大きな行事です。そのため、どちらのお寺でも約3～4年かけ着実に準備を進め、晋山式の日には備えています。

当寺では新命和尚が大徳寺修行道場(京都)に入る頃から、代表役員(総代)様のご尽力により皆様から多額のご寄進をいただき、この晋山式の準備に充当させて頂きました。

例えば、本堂や大玄関の柱磨きや床下の補強に始まり、畳の総入れ替え、玄関及び書院の壁の塗り直し、大般若箱の新調、新命和尚の法衣や袈裟の用意と準備を進めてきました。

このように多くの檀信徒の皆様を支えられて、お寺は継承されていくのです。

### 今月のついで



水田に早苗が美しい  
列を作り、庭苔も雨  
を吸って一層青々と  
する今日このごろ。

やはり田舎育ちの私などは、梅雨に入ると  
ワクワクします。畑の野菜も庭の木々もアメ  
ンボやカエルも、喜んでるように思えてな  
りません。幼い頃、長靴で水たまりをジャブ  
ジャブ歩いて遊んだことなど思い出します。

雨は、天から平等に降ってくる宝物です。  
昔は雨乞いをするほど雨を待ち望んだとい  
話を聞くと、この梅雨の時期はホッと安心で  
きる季節だったことと思います。

そんな「こもかしこも満ち足りた様子を  
すしうまんまん しゃつかまんまん  
「頭上漫々 却下漫々」と禅語では言います。  
頭の上から足の下まで、私達の身の回り、草  
木や動物も、すべては仏様の心を持っている、  
そんな満ち足りた世界に私達は生きている。

しっとり降る雨音を  
聞きながら、「今(いま)し  
て生かされている」こと  
をじっくりと考えてみた  
い、そんな若おくりも  
とうとう30歳を迎えます



## ～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里4号のおばあちゃん わらびで簡単 ご飯のおとも

- ① わらびはアクを抜くため、ミョウバンと熱湯を合わせたボールに入れて、一晩寝かせる。
- ② 翌日、黒くなったボールのアク汁を捨て、わらびを洗う。
- ③ 人参とキュウリと生姜を細かい千切りにする。
- ④ 一口大に切ったわらびと③の材料をボールに入れて、「ふじっ子の塩こんぶ」を入れてよく和える。



わらびのアク抜きはミョウバンの他にも灰を入れたり、杉の葉を入れたり色々。  
しょう油やみりんの調味料は全然使わへん。塩こんぶをよく混ぜ込むと、キュウリや人参も  
しんなりしてくるよ。この料理、私も初めて作ってみたけど、どうやる?





### 大智寺晋山式 稚児行列

#### ～ 稚児の募集 ～

- ◎ 日時：11月6日（日）13時～
- ◎ 集合：12時半に一休庵（北野東）集合次第出発
- ◎ 費用：5000円（申込時にお寺へご納金下さい）
- ◎ 申込：大智寺まで（10月15日締切）



※お申込みには、稚児及び親御様の氏名・住所・電話番号・性別・サイズを伺います。  
 ※稚児衣裳は、当日の朝（9時～12時）に、一休庵にて随時お渡しします。  
 ※稚児衣裳は、当日大智寺本堂西の弘法堂にて返却いただきます。

#### 初心者 大歓迎 東日本大震災物故者追善供養 毎月定例写経会

今月の日程  
 6月26日  
 （8時～9時）  
 一回500円  
 要申込

震災・津波で亡くなられた方の為、「般若心経」の写経をし、心静かにご冥福をお祈りします。



#### 月に一度はお寺まいり どなたでも参加できます

#### 若おくりと気楽に楽しむ 観音さまの会



大智寺は美濃西国三十三観音霊場のひとつです。観音様の教えを通して、日頃の生活を振り返ります。

日程は応相談  
 月に一回（全6回）  
 要申込

#### 童心に戻って夢中になれる ハサミで 切り絵

12月の大坐禅会に境内中を灯す、牛乳パック灯ろうと一緒に作りませんか？ご希望があれば、日程調整の上いつでも体験できます。お友達同士でお出かけください。

#### 一対一で何でも話せる ホッと一息 一服のお茶

今月の月釜  
 6月27日（午後）  
 一回500円  
 要申込（時間応相談）



### 永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

うちは女の子ばかりでお嫁に出たら、もう先祖代々のお墓を守っていけない。  
 うちは遠くに先祖代々のお墓があるけれど、お参りにいくのが大変。

お寺ではそのような方のために、ご先祖様のお骨又は土の改葬も行ってます。永代供養墓とはご先祖様と一緒に一区画に眠れる「小さなお墓」なのです。



**完全個別永代供養墓**  
 1区画：25万円～  
 （墓石代金含む）

#### 特色

- ◎宗教・宗派 不問
- ◎大智寺での供養内容  
月命日の供養  
春秋彼岸の供養
- ◎追加納骨 可能  
夫婦、家族でご利用可  
（追加料金 なし）